

年間指導計画			観点別評価の評価規準		
月	単元	時間	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	・ガイダンス	1			
5	・情報セキュリティと情報モラル ・コンピュータとプログラミング ・双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決	10	●情報セキュリティに関わる基礎的な仕組みを説明できる。	●双方向性のあるコンテンツに関わる問題を見だし、課題を設定できる。	●進んで情報の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。
6			●情報モラルの必要性と情報を発信するときの注意点について説明できる。	●使用するメディアを複合する方法と効果的な利用方法など利用者に配慮した解決策を構想し、情報処理の手順を具体化することができる。	●自分なりの新しい考え方や捉え方によって、解決策を構想しようとしている。
7			●知的財産を保護する必要性と利用方法を説明できる。	●製作工程表に基づき、設計と実際の動作を確認しながら、合理的な解決作業を考えることができる。	●知的財産を創造、保護、及び活用しようとしている。
9			●双方向性のあるコンテンツの仕組みを理解し、簡単なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができる。	●問題解決とその過程を振り返り、社会からの要求を踏まえ、プログラムがよりよいものとなるよう改善及び修正を考えることができる。	●自らの問題解決とその過程を振り返り、よりよいものとなるよう改善・修正しようとしている。
10			●安全・適切なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができる。		
11	・計測・制御のプログラミングによる問題解決 ・これからの情報の技術	7	●計測・制御システムの各要素の種類と役割を説明できる。	●情報の技術を利用した、問題解決の見通しをもつことができる。	●課題をふり返し、プログラムをよりよいものに改善しようとしている。
12			●計測、制御システムにより自動的に危機が動くしくみを説明できる。	●解決のためにセンサとアクチュエータをどのように利用するか、入出力されるデータの流れから計測・制御システムを構想し制作工程表等に表現できる。	●よりよい生活や社会の構築に向けて、情報の技術を工夫し創造しようとしている。
1			●生活や社会に果たす役割に果たす役割や影響について情報の技術の概念を説明できる	●よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、情報の技術を評価し、未来に向けた新たな改良、応用について提言できる。	
2					
3					
主たる評価材料			定期考査・小テスト・授業内での作品・実技テスト	プリント・レポート・活動報告書・定期考査の記述内容・授業内での作品など	レポート・主に作品を中心に作業・授業の取り組み・活動報告書と作品